



新宿区

暮らしやすさも賑わいも
一番の自治のまち「新宿」

平成27年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成27年2月18日(水)

事業名	資源回収の拡充と環境学習の推進	予算(案)の概要 110 ページ
予算額	903,512 千円 (拡充) (前年度予算額 962,333 千円)	
取材先	環境清掃部 新宿清掃事務所長 黒田 (電話 03-3950-2923)	

1 資源回収を資源回収拠点から、資源・ごみ集積所へ移行 (予算額566,695千円)

平成27年4月から、区内全域でびん・缶・ペットボトル・スプレー缶・カセットボンベ・乾電池の回収場所を、資源回収拠点から資源・ごみ集積所に移行します。
なお、平成26年10月から区内一部地域で「モデル事業」を実施しています。

- 主な変更理由
 - (1) びん・缶・ペットボトル等の資源回収拠点(約3,600箇所)を原則廃止し、近くのごみの集積所(約19,600箇所)に移行することで区民の利便性向上を図ります。
 - (2) 品目により異なっていた排出場所及び排出曜日を、一本化することで資源の排出方法をわかりやすくし、区民サービスの向上を図ります。
 - (3) 回収日前日のコンテナやネットの設置を廃止することで、前日の夜間から早朝の排出時の騒音や抜き取りなどの問題を改善し、生活環境の保全を図ります。

変更前

資源回収拠点 約3,600箇所

前日に設置したコンテナ・ネットに排出

街角に出るコンテナ・ネット(回収拠点)



変更後

資源・ごみ集積所 約19,600箇所

品目毎にポリ袋で排出

資源・ごみ集積所



2 金属・陶器・ガラスごみの収集体制の整備と 新宿中継所の活用 (予算額 334,027千円)

収集した金属・陶器・ガラスごみから、手作業で火災原因物や資源を分別します。

また、新宿中継所は、これまでの中継作業を継続しながら、新たに資源のストックヤードや分別・積替え等の機能を加え、資源化推進拠点として活用していきます。

収集した金属・陶器・ガラスごみ



- 新宿中継所の名称を「新宿中継・資源センター」に変更します。

火災原因物や資源の分別作業



分別後の火災原因物等



3 清掃職員による環境学習の推進 (予算額2,790千円)

ごみの減量・リサイクル推進の普及啓発事業として、保育園・幼稚園・小学4年生を対象に、清掃職員による「環境学習」を実施しています。

ごみの減量やリサイクルの重要性、ごみの発生から最終処分までの流れなどを、紙芝居やゲームでわかりやすく学習します。

また、屋外ではカッティング車両を使って実際の収集作業を体験するなど、楽しみながらごみや資源に関する理解を深めていきます。(平成27年度にカッティング車両更新)

正しく分別してね! 「は〜い!!」



清掃車は、こんなにいっぱいごみ袋が入るんだね!

